「市政協力委員」の皆さんの活躍を紹介！

地域の声で

子どもの安全を守りたい！

郵便ポストとゴミ集積場を移設

市政協力委員　木村さんにお話を伺いました。

木村さん　肥後橋は、通学路になっていますが、朝夕の交通量が多い場所です。東詰にはゴミ集積場があり、週2回の収集日にはゴミが車道まではみ出してしまい、児童が車道を歩くという危ない状況でした。

そこで!

木村さん　東詰にある郵便ポストを移設し、現在のポストの位置へゴミ集積場を移設してはどうかとなり、伏見区役所に相談しました。

区役所の職員さんが状況を確認し、郵便局や関係する行政部署に連絡を取り、調整をしてくれました。

市政協力委員として

木村さん　地域の困りごとや相談を聞き、行政へつなぐのは、市政協力委員として当然の仕事と考えています。今後も、地域と行政との懸け橋として活動を続けていきたいです。

▲ゴミ収集日の肥後橋

コロナ禍でも

コミュニケーションを広げたい！

Zoom会議・デジタル回覧板の活用

市政協力委員　西村さん、自治連合会　中井さん、神谷さんにお話を伺いました。

コロナ禍で今までのように対面で会議を開いたり、地蔵盆などの地域行事がなかなかできない中、中京区朱雀第三学区では、ICTを活用して地域のつながりの輪を広げていこうとされています。

どうやってはじめる？地域のICT化！

西村さん　コロナ禍の中でも会議に参加したいといった声や、仕事等で対面での参加が難しい若い世代の方に、地域の取組に参加して欲しいと思ったことがきっかけでした。

中井さん　取組を始める際に、パソコンやスマートフォンを使い慣れている若い方を中心に進めてもらおうとなり、神谷さんにデジタル担当役員になってもらいました。

神谷さん　まず、会議の参加者を増やすために、自治会館に来れない人にはZoomで参加していただけるようにしました。また、自治会で発行している会報や行事のお知らせを公式LINEアカウントで共有する「デジタル回覧板」を始めました。

◀デジタル回覧板

▲Zoom会議の様子

大切なこと

中井さん　今後、「デジタル回覧板」では、地域の昔が分かる写真を皆さんから集めて掲載し、地域への愛着を持って欲しいと思っています。

西村さん　大事なことは、顔を知っていて、あいさつができること。手段は変わっても、変わらないことを大事にしていきたいです。

問合せ　文化市民局地域自治推進室　☎222-3049　FAX222-3042

市政協力委員は、市民主体のまちづくりに欠かせない存在。委員の仕事に加え、地域での顔の見えるつながり作りも行ってるんやでぇ

市広報マスコット
ミッケ

あなたの街の ちびっこひろば

地域のみなさんがつくった地域のみなさんのためのひろばです。子どもの遊び場や地域行事の場等として、ご活用いただいています。